

子めら達だちがいだだど。

「ああむぞせなあ、こらこら犬可愛かわい想そだがいじめねで、この布ど取っつけねがあ」
つっただど。

「ああいいよう」

なんて。子めら達だちはその布ど犬つこ取っただど。

「ああ可愛かわい想そだなあ」

お爺じんちやは犬だいで家うつつつあ帰かえつてきたのはいいだけんじよ、布売しうんにえぐつて銭しえにんなん
ねがったがら、お婆ぼんちやに何なんて言ゆわれつかど思おもつてはあ心配しんぱでしよがねえがら、裏うらの柴荷しばい
の陰かげさ犬だいで隠かくつちだだど。したい暗えぐはなつたしお婆ぼんちや、

「何なんだつてお爺じんちや遅おせえいなあ、来こねなあ」

なんて言ゆつて、

「んじやだんだん飯まんまごしえしてつかあ」